

総論

# 東京都が目指す2050年の姿 世界の「CO<sub>2</sub>排出実質ゼロ」に貢献 ～ゼロエミッション東京戦略～

東京都環境局総務部環境政策課

## 1 戦略策定の背景と「気候危機行動宣言」

巨大なハリケーンや山火事などの気象災害が世界各地を襲い、日本でも記録的猛暑や豪雨による被害が発生するなど、世界全体が危機的な状況にあります。気候変動の影響の甚大さと対策の緊急性が改めて浮き彫りになった今、世界は脱炭素社会に向けた大胆な変革が求められています。

こうした中、東京都は2019年5月の国際会議で、大都市の責務として、2050年に世界のCO<sub>2</sub>排出実質ゼロに貢献する「ゼロエミッション東京」を実現することを発表しました（写真-1）。

そして、2019年12月、2050年に向けたビジョンと具

体的な取組、ロードマップをまとめた「ゼロエミッション東京戦略」を策定し、同時に、今直面している気候危機を強く認識し、実効性のある対策を戦略的に講じるとともに、すべての都民に共感と協働を呼びかけ、ともに気候危機に立ち向かう行動を進めていく「気候危機行動宣言」を表明しました（図-1）。

本戦略は、東京の脱炭素化の出発点となるものです。エネルギー、都市インフラ、資源・産業などのあらゆる分野において、低炭素化から脱炭素化へと社会システムを速やかに移行し、世界共通の課題に取り組んでいきます。



写真-1 U20東京メイヤーズ・サミット



図-1 ゼロエミッション東京戦略

## 2 戦略の基本的考え方と体系

脱炭素社会への大胆な転換を図り、持続可能で強靱な都市を構築するため、次の3つの視点を戦略の基本的な考え方としています。

### 【戦略の3つの視点】

- ・ 気候変動を食い止める「緩和策」と、すでに起こりはじめている影響に備える「適応策」を総合的に展開
- ・ 資源循環分野を本格的に気候変動対策に位置づけ、都外のCO<sub>2</sub>削減にも貢献
- ・ 省エネ・再エネの拡大策に加え、プラスチックなどの資源循環分野や自動車環境対策など、あらゆる分野の取組を強化

戦略では、東京の特性を踏まえつつ、東京都が特に重点的に取り組むべき分野を選定し、6分野14政策に体系化し、2050年に目指すべき姿とロードマップを示しています。

そして、今後10年間の取組が極めて重要という観点から、2030年に向けた17の主要目標と、その目標を上回るよう進化・加速する具体的取組「2030年目標+（プラス）アクション」を設定しています。

また、重点的対策が必要な分野については、より詳細な取組内容等を記した個別計画・プログラムとして「東京都気候変動適応方針」「プラスチック削減プログラム」「ZEV普及プログラム」を策定し、本戦略と同時に公表しました（図-2、3）。



図-2 ゼロエミッション東京戦略の体系

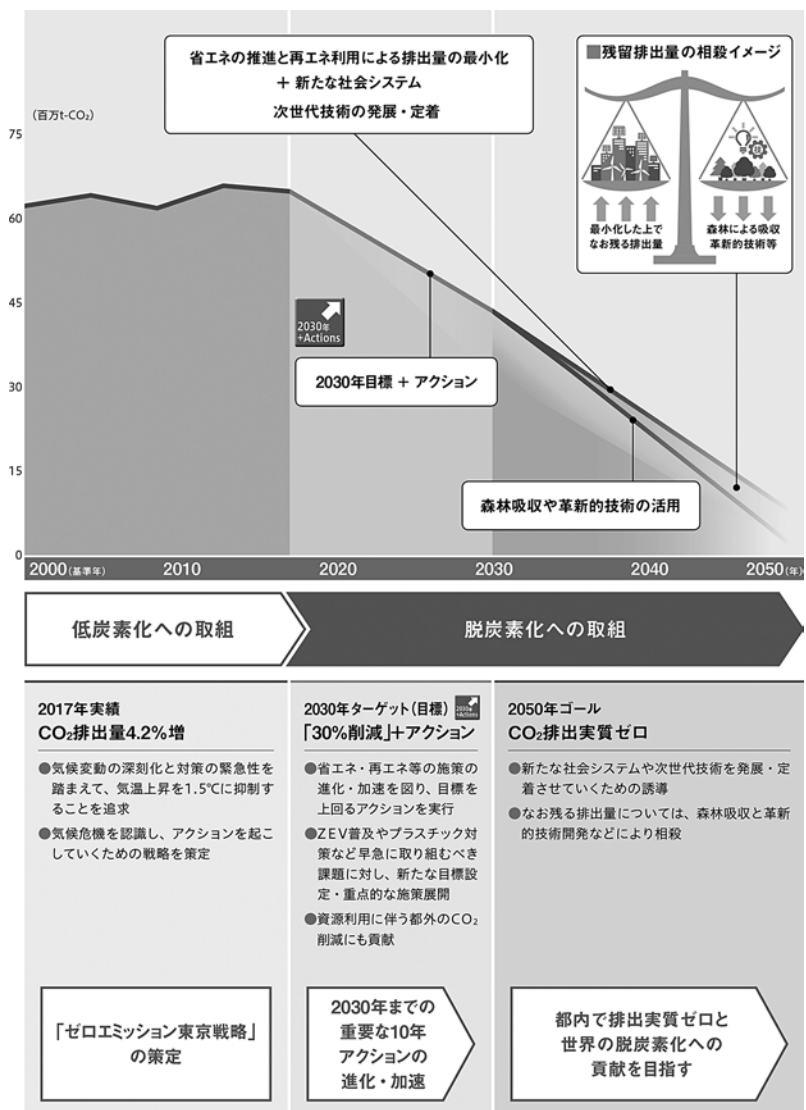


図-3 CO<sub>2</sub>排出量削減に向けた2050年までの道筋